

# わたしたちの町



## 「私の考える猪苗代町の未来」

やまうちりょうが  
山内 翁雅さん  
(翁島小6年)

181人。この数字は昭和53年、今から45年前の翁島小学校の全校児童数です。現在の全校児童数は、74名。45年前と比べて100人以上減少しています。これは、人口減少による結果です。

この状態が続くと、やくやく猪苗代町が消滅してしまうのではないかと私は不安に感じました。磐梯山に猪苗代湖、観音寺川の桜、猪苗代町は自然豊かな町です。人口は少なくなりつつあります。毎年、この美しい自

野口体育祭は、他の小学校の人たちと真剣勝負ができる貴重な機会です。町の五・六年生一人一人が目標に向かつて必死に頑張るいの大会はとても素晴らしい町の行事だし思います。

今年の大会で、私は百メートル走り高跳びとリレーの三種目に出演し、全ての種目で優勝することができました。中でも走り高跳びは、大会新記録を出したての優勝しだったので、とてもうれしかったのです。いのもう

な結果を残すことができたのは、一緒に練習を頑張った仲間や、熱心に指導してくださった先生方、そしてたくさんの方々の応援のおかげです。野口体育祭のよくな日々の感動が生まれる素晴らしい大会は、いつもでも続いてほしいと思います。

## 「野口体育祭に 出場して」

のぐち やまと  
野口 大和さん  
(長瀬小6年)



私は、奈良町で働き、新たな観光地を生み出したいと考えています。そして、町に住む人々が今後もどんどん増え続けたいと願っています。

私は、奈良町で働き、新たな観光地を生み出したいと考えています。そして、町に住む人々が今後もどんどん増え続けたいと願っています。

## 傍聴において下さい

## 12月議会は 12月6日(火曜日) 開会予定です。

【一般質問予定日】12月(月)・13日(火)

\*質問者・質問内容については12月1日以降に町のホームページに掲載します。また右施設にチラシを掲示しますのでご覧ください。

### 掲示施設名

- ・役場市民ホール
- ・学びいな
- ・和みいな
- ・カメリーナ
- ・町立猪苗代病院
- ・老人福祉センター
- ・まちのえきまるしめ

雨の中、野口体育祭が開催されました。大会新記録が4種目もできるなどの活躍が見られました。選手のみなさんお疲れ様でした。



## 今号の表紙

令和元年度以来の町総合防災訓練が実施され、避難所開設訓練では、感染症対策として、テント設営も行われました。



議会広報編集特別委員会  
議 員 長 長澤 鈴木 元  
副委員長 大高佐代美 操  
委 員 委 員 委 員 委 員  
長 員 員 員 員 員 員  
渡辺真一郎 渡部一登 星野あけみ 瀧田勝昭

▼災害から身を守るには日頃の備えもとても大切です。自宅や身近な場所の危険箇所、ハザードマップの確認や非常持ち出し品の準備など、災害にどう備えるのかを再確認してみてはいかがでしょうか。

令和元年10月に福島県を直撃した令和元年東日本台風の襲来から早いもので3年の月日が経ち、今年8月3日に会津地方を襲った記録的大雨では当町に於いても甚大な被害が確認されました。近年の自然災害は『想定以上』と言われる災害が広範囲に発生し、特別警報発令時の『自身の命を守る行動』という呼びかけも、近頃はテレビやラジオから聞く機会も多くなっています。自分で自分の身を守る『自助』全體像の把握が難しく、情報の伝達が困難になることも想定され家族や隣近所で助け合う『互助』が大切であると言われています。

身近な場所の危険箇所、ハザードマップの確認や非常持ち出し品の準備など、災害にどう備えるのかを再確認してみてはいかがでしょうか。

令和元年10月に福島県を直撃した令和元年東日本台風の襲来から早いもので3年の月日が経ち、今年8月3日に会津地方を襲った記録的大雨では当町に於いても甚大な被害が確認されました。近年の自然災害は『想定以上』と言われる災害が広範囲に発生し、特別警報発令時の『自身の命を守る行動』という呼びかけも、近頃はテレビやラジオから聞く機会が多くなっています。自分で自分の身を守る『自助』全體像の把握が難しく、情報の伝達が困難になることも想定され家族や隣近所で助け合う『互助』が大切であると言われています。

身近な場所の危険箇所、ハザードマップの確認や非常持ち出し品の準備など、災害にどう備えるのかを再確認してみてはいかがでしょうか。

令和元年10月に福島県を直撃した令和元年東日本台風の襲来から早いもので3年の月日が経ち、今年8月3日に会津地方を襲った記録的大雨では当町に於いても甚大な被害が確認されました。近年の自然災害は『想定以上』と言われる災害が広範囲に発生し、特別警報発令時の『自身の命を守る行動』という呼びかけも、近頃はテレビやラジオから聞く機会が多くなっています。自分で自分の身を守る『自助』全體像の把握が難しく、情報の伝達が困難になることも想定され家族や隣近所で助け合う『互助』が大切であると言われています。

身近な場所の危険箇所、ハザードマップの確認や非常持ち出し品の準備など、災害にどう備えるのかを再確認してみてはいかがでしょうか。